

アトピー性皮膚炎と うまくつきあっていくために...

いっしょに
遊びたい



製造販売業者
ノバルティス アニマルヘルス株式会社
東京都港区浜松町二丁目4番1号

ノバルティスカスタマーサービス TEL 0120-162-419
月～金 9:00～12:00, 13:00～17:00 (祝祭日除く)

ATP-0604-09-PI

アトピカ[®]カプセル

Atopica[®]

アトピー性皮膚炎の治療日記

| 日付 月/日 | 症 状 | | | | |
|--------------|--------------------|-------------|----------|-------------|--------------------|
| | 非常に 激しく痒がる 5 | 激しく痒がる 4 | 痒がる 3 | たまに痒がる 2 | ほとんど 痒がらない 1 |
| ／ (治療開始日) | | | | | |
| ／ | | | | | |
| ／ | | | | | |
| ／ | | | | | |
| ／ | | | | | |
| ／ | | | | | |
| ／ | | | | | |
| ／ | | | | | |
| ／ | | | | | |
| ／ | | | | | |
| ／ | | | | | |
| ／ | | | | | |
| ／ | | | | | |
| ／ | | | | | |
| ／ | | | | | |

アトピー性皮膚炎とは

▶ 症 状

ワンちゃんのアトピー性皮膚炎には次のような症状がみられます。

- とても痒がる
- 皮膚が赤くなっている
- 症状が顔や足、お腹にみられる



ただし、ワンちゃんがアトピー性皮膚炎に長い間かかっていると症状が全身へ広がることがあります。また、とても痒いので、体を舐めたり、引っ掻いてしまうため、毛が抜ける、皮膚の表面がむけてしまう、などの症状もみられることがあります。アトピー性皮膚炎と似たような症状を示す皮膚病は他にもあるので、かかりつけの獣医師に相談しましょう。一般的に、アトピー性皮膚炎は完全に治すことが難しい病気とされていますが、現在は色々な治療法によって、病気とうまくつきあっていくことができます。

▶ 原 因

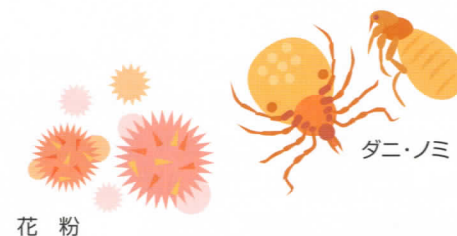
ワンちゃんの体の中では、**侵入してきた異物を退治しようとするしくみ(免疫)**がはたらいています。アトピー性皮膚炎と診断されるワンちゃんは、**環境中に存在するアトピーの原因物質(アレルゲン)**に対してこの**免疫が過剰にはたらいています。(アレルギー反応)**また、アトピー性皮膚炎は遺伝的要因などが関係していると考えられており、アトピー性皮膚炎になりやすい犬種(好発犬種)が報告されています。

好発犬種

柴犬、ウエストハイランドホワイトテリア、シーズー、ゴールデンレトリバー、ヨークシャーテリア、ビーグル、ラブラドルレトリバー、シェットランドシープドック、マルチーズ など

▶ アレルギーの原因物質

日常生活には、アレルギー反応を引き起こすさまざまな原因物質が潜んでいます。例えば、ダニ、ノミ、ハウスダスト、花粉、カビなどが挙げられます。



アトピカ®の効果

アトピー性皮膚炎の治療にはさまざまな方法があります。アトピカは原因物質の侵入によって起こる過剰なアレルギー反応を抑え、アトピー性皮膚炎の症状を和らげる飲み薬です。海外ではすでに高い評価を得ており、日本国内の臨床試験では76.8%のアトピー性皮膚炎のワンちゃんに有効だったという結果が出ています*。

*ノバルティス アニマルヘルス社内資料

治療前

アトピカ®で治療後



アトピカ®の副作用

アトピカを服用するにあたって、嘔吐や下痢などの胃腸障害がみられる場合があります。これらの副作用の多くは一時的に発症するもので、お薬を飲み続けていると次第におさまることが海外・国内の試験で報告されています。

もしワンちゃんにこのような症状がみられ、なかなかよくなる場合は、かかりつけの獣医師にご相談ください。

ステロイド剤との違い

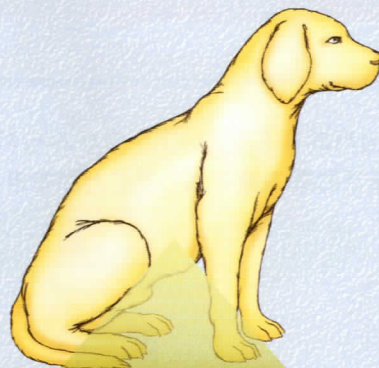
ステロイド剤は、アトピー性皮膚炎の治療薬剤の1つとして使用されていますが、長期にわたり多量に使用すると全身にさまざまな副作用を引き起こす可能性があるお薬です。

アトピカは、体内でアレルギー反応を起こすしくみ、「免疫」のみをターゲットとして作用し、その過剰なはたらきをブロックすることでアレルギー反応を抑えます。ステロイド剤とアトピカの効き方は、図のように違ってきます。

▶ アトピカとステロイド剤の効き方の違い

▶ アトピカ®

アトピー症状を引き起こす「原因である免疫のはたらき*」だけに作用する（一過性の嘔吐・下痢などの副作用がある）



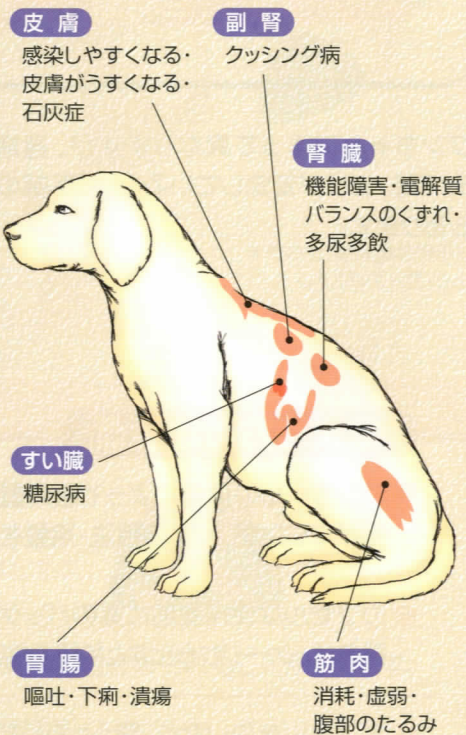
アトピカ®の作用

過剰な免疫のはたらきのみをブロック
アレルギー反応を抑える

*免疫：体内に侵入してきた異物から体を守るためのしくみ。しかし過剰反応によりアトピーなどのアレルギー症状を引き起こしてしまうことがある。

▶ ステロイド剤

早く効くが、全身に作用するため、体中にさまざまな副作用を引き起こす



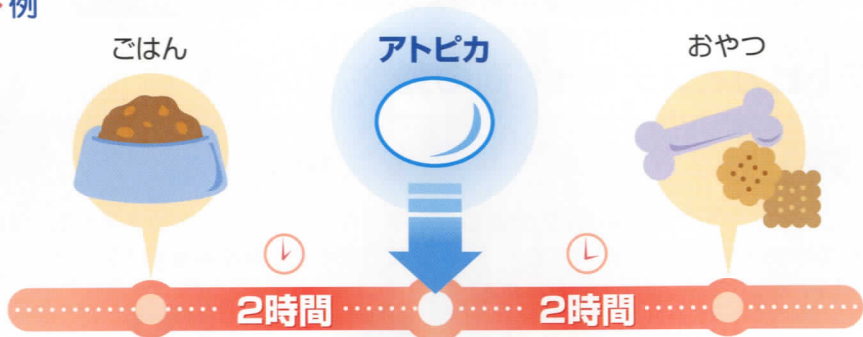
アトピカの飲ませ方



▶ アトピカは、空腹時にあたえてください。

アトピカを飲ませる **前2時間**、アトピカを飲ませた **後2時間** はワンちゃんに食べ物をあたえないでください。

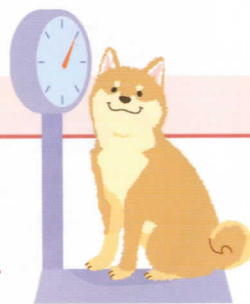
▶ 例



ワンちゃんによって異なりますが、通常、1ヵ月前後に症状の改善がみられます。その時、症状が安定していると、獣医師の判断でお薬の量を減らすことができます。

飲ませ方の注意点

- ワンちゃんの体重によって服用量が違います。獣医師の指示にしたがい、薬の用法・用量を正しく守ってください。
- カプセルは使用直前に薬のパッケージから出します。薬のパッケージから出すと独特の臭いがしますが、品質そのものに問題ありません。
- カプセルを砕いたり、割ったりしないでください。



大切なワンちゃんのために 気をつけていただきたいこと

- こまめに部屋を掃除しましょう
(アレルギーの原因となるダニ、ノミ、ハウスダストなどを少なくします。)
- ワンちゃんに合った薬用シャンプーで肌を清潔に (皮膚の状態を良好に保ちます。)



- 適度な運動でストレス発散
- 獣医師の指導にしたがってフードをあたえましょう



* その他、獣医師の指示にしたがってください。

- ワンちゃんがカプセルを噛み砕かないように注意してください。
- カプセルをフードに混ぜないでください。
- 副作用として、一時的な嘔吐・下痢などの胃腸障害がみられることがあります。
- カプセルを飲ませにくい場合は、獣医師に相談してください。

